

別紙「第15回スプリングウォーターフェスタにおける新型コロナウイルス感染症防止策」

本記録会は無観客で行います。参加選手、選手と一緒に会場内に同行する介助者等、競技役員、および会場に入場する関係者については、大会参加2週間前から記入した「健康チェックシート」の提出が必要です。「健康チェックシート」は事前に配布します(または、ホームページからダウンロード可能です)ので、記録会当日に必ず持参してください。提出がない場合は会場に入場することができません。

受付時に健康チェックシートの確認と検温を行います。平熱より高い熱(37℃以上を目安とする)がある場合や健康状態によっては入場をお断りすることがあります。健康状態を確認し参加可能と判断された方には、ADカードをお渡しします。ADカードは会場内では常に携帯して(首から下げる)ください。ADカードがない場合は会場に入場できません。

ADカードはお帰りの際にご提出ください。

ワクチン接種や、PCR 検査等を実施して参加されることを推奨します。

この防止策は感染症の状況や準備状況に応じて更新されます。更新した場合は当連盟のHPに掲載しますので、その都度ご確認ください。

【参加に際しての全般的な注意事項】

- (1)参加選手及びすべての入場者は参加当日ならびにその2週間以内に以下の事項について該当がないか確認します。健康チェックの結果、下記の症状があれば大会参加及び、入場をお断りします。
 - ・平熱を超える発熱
 - ・咳(せき)、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・だるさ(倦怠感)息苦しさ(呼吸困難)
 - ・臭覚や味覚の異常
 - ・体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・下痢や頭痛
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・同居している人や身近な知人に感染が判明した、または感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2)参加者は「健康チェックシート」に参加の2週間前から健康状況を記載し、提出しなければなりません。大会当日に必ず持参してください。介助者等、競技役員、その他の大会関係者についても同様です。
- (3)「健康チェックシート」ならびにADカードは九州障がい者水泳連盟事務局が集約し、1 か月保管します。必要時は公的機関に提出しますので、あらかじめご了解ください。
- (4)マスク(不織布に限る)などは各自で持参してください。
- (5)マスク、衣類をいれるビニール袋などは感染防止対策として各自で持参してください。
- (6)起床時の検温を行い、平熱を超える体温や体調が悪いときは勇気をもって、参加中止をしてください。
- (7)大会期間中、発熱を認めた場合は、その時点で参加を中止とし、すみやかに退館してください。
発熱以外に感染症を疑う症状がある場合も同様に参加を中止し、退館していただきます。
- (8)開催地までの移動においても十分な感染防止対策をとってください。
- (9)施設への出入りは最小限にしてください。いったん外出された際は入場時に再度検温手指消毒を行ってください。
- (10)会場内の導線や案内に従って移動してください

- (11)大会中に体調不良となった場合はすみやかに医務班に相談してください。
- (12)その他、主催者・施設管理者が定めた措置・指示について従ってください。
- (13)大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、濃厚接触者の有無も含めて、主催者に連絡をしてください。

【練習や競技会時の注意事項】

- (1)入館から退館時までの全ての場面で、人との距離をできるだけ2m以上(最低 1m)をとって行動してください。(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
- (2)プール内でも他者との距離を2m(最低 1m)保ってください。練習時各レーン内で待機する場合も、他者との距離を保ってください。
レーンの使用については、当日の主催者の案内に従ってください。
- (3)プールサイドでは泳ぐときを除いてマスクを着用してください。
観覧席、招集、選手待機場所、会議室等では、人との距離・座席間の距離を保ってください。
- (4)運動する時以外はマスクを着用してください(更衣室・観覧席・プールサイド・トイレなど)。
- (5)こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施してください。アルコールにアレルギーがある場合は、石鹸による手洗いを実施してください。
- (6)大きな声での会話や応援は控えてください。
- (7)練習時、介助者等は大きな声での指示は控えてください。呼気式のホイッスルの使用は禁止とします(電子ホイッスルは使用可能、必要に応じて各自で準備すること)。
- (8)唾や痰を吐くことは極力行わない。吐く場合は排水溝に確実に入れ、多めの水で流してください。
- (9)練習用具やマット、デバイス等は共有しないで、各自で用意してください。
- (10)介助者等が介助を行う際はマスク着用の上、お互いに接触したら手洗いをするなど、感染予防対応をとってください。ケアなどの接触は極力控えてください。また、目の粘膜の保護にメガネなどを装着することを推奨します。
- (11)招集所で密にならないよう競技開始予定時刻の 10 分前を目途に集まってください。あわせて、会場内の指示がある場合はその指示に従ってください。
- (12)レース直前までマスクの着用をしてください。外したマスクや衣類が直接かごに触れないようビニール袋等に入れてください。なお、レース前はマスクバンドの利用を推奨します。
- (13)レース直後の会話は控えてください。呼吸が落ち着くまでは他者との距離を保ち、呼吸が落ち着き次第マスクを着用してください。
- (14)更衣室ではマスクなしでの会話を控えてください。使用した椅子などを消毒してください。
- (15)熱中症にも留意し、水分補給を心がけ、他者との距離が保てる場合はマスクを外すなどの熱中症対策をとってください。
- (16)観覧席や待機所ではひとつ席を空けて前列と重ならないように距離を確保して座ってください。手すり等は適時清掃しますが、個人個人がこまめな手指消毒を心がけてください。
- (17)飲食については、指定場所以外で行わないでください。ドリンクの回し飲みは行わないでください。
- (18)食事の際は席のとり方に注意し(真正面に座らない等)、食事中の会話は控えてください。(黙食)
- (19)トイレを流す時は蓋をして流してください。トイレ使用後は手洗いを丁寧にいきマイタオルを持参してください。
- (20)鼻水、唾液などがついたゴミはビニール袋に入れて密閉して処分してください。ゴミは各自でお持ち帰りください。
- (21)自分の練習や競技が終了したら、速やかに会場から退館してください。

(22)会場内は適時換気を行われています。

(23) その他、主催者・施設管理者が定めた措置・指示について従ってください。

【競技役員等スタッフの注意事項】

- (1) 競技役員はマスク(不織布マスクに限る)を着用し、必要に応じて使い捨て手袋、フェイスシールドを併用してください。
- (2) 控室が密にならないように分散して休憩をとってください。
- (3) 医務班、会場係、総務は参加者の感染対策が実施できているか適時巡回して不十分な場合は指導してください。
- (4) 競技に使用する機器・機材は適時アルコールシート等で消毒してください。

【宿泊施設での留意点】

- (1) 施設にて実施されている感染予防対策を遵守してください。
- (2) ホテル内で、ミーティング等で密にならないようにしてください。
- (3) 室内の換気状況や乾燥に留意し、適度な湿度を保つようにしてください。

【その他】

- (1) 外食する場合、感染対策が取られている飲食店を利用してください。また、席の座り方も留意してください。
多人数での利用は控え、黙食を心がけてください。特にレース終了後は開放的になりがちですのでご注意ください。
- (2) 大会参加に際しては、2 週間から感染リスクの高い場所への立ち寄りなどの行動は控えてください。

※介助者等とは、介助者・保護者・コーチをいう

安全・安心な大会の開催に向けて一人一人が感染防止策の徹底をお願いします。

九州障がい者水泳連盟